

事後調査の結果

調 査 項 目：自然との触れ合い活動の場

調査した事項：自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度

1. 調査地域

工事用車両の走行により、散歩道（目黒川からたつぷりコース）に対し影響が及ぶと考えられる、計画地東側に隣接する補助 163 号線とした。

2. 調査手法

2.1 調査事項

- (1) 予測した事項
 - 1) 自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度
- (2) 予測条件の状況
 - 1) 施工計画（工事用車両の出入口等）
- (3) 環境保全のための措置の実施状況

2.2 調査時点

- (1) 予測した事項
 - 1) 自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度
平成 29 年 5 月から平成 30 年 8 月時点までの期間とし、工事の施行中の随時とした。
- (2) 予測条件の状況
 - 1) 施工計画（工事用車両の出入口等）
「(1) 予測した事項」と同様とした。
- (3) 環境保全のための措置の実施状況
平成29年5月から平成30年8月末までの工事の施行中の随時とした。

2.3 調査地点

(1) 予測した事項

1) 自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度

調査地点は、図 4-1 に示す計画地東側に隣接する補助 163 号線とした。

(2) 予測条件の状況

1) 施工計画（工事用車両の出入口等）

「(1) 予測した事項」と同様とした。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

「(1) 予測した事項」と同様とした。

2.4 調査方法

(1) 予測した事項

1) 自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度

現地踏査による目視確認及び写真撮影により、散歩道（目黒川からたっぷりコース）である計画地東側の補助 163 号線に対する支障の有無を確認する方法とした。

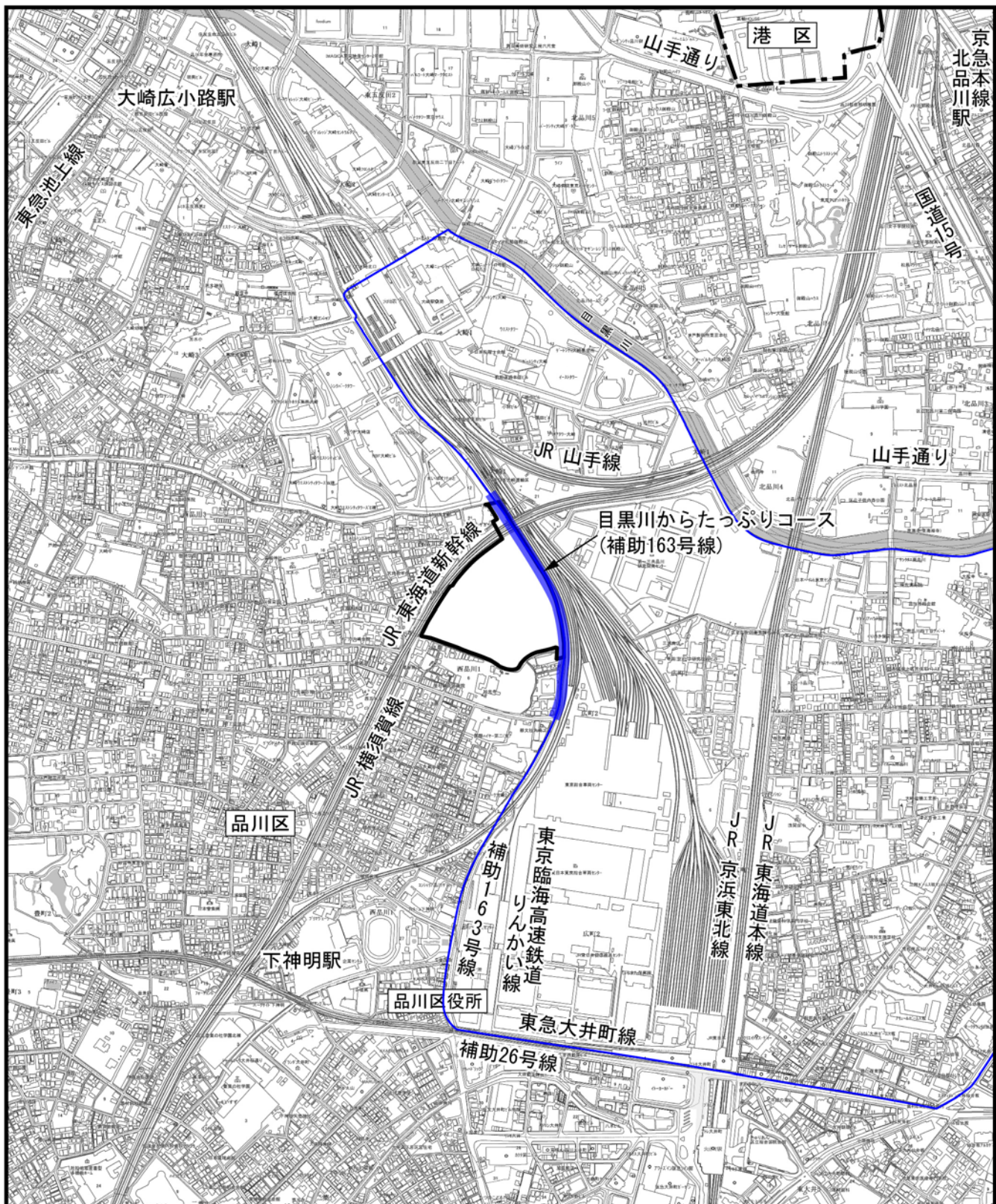
(2) 予測条件の状況

1) 施工計画（工事用車両の出入口等）

現地調査及び関連資料の整理により行った。

(3) 環境保全のための措置の実施状況

現地調査及び関連資料の整理により行った。



凡 例

- 計画地
- 区界
- 散歩道(目黒川からたつぷりコース)
- 調査範囲



Scale 1:10,000

0 100 200 400m

図 4-1

自然との触れ合い活動の場の調査地点

3. 調査結果

3.1 事後調査の結果の内容

(1) 予測した事項

1) 自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度

計画地東側の補助 163 号線の工事用車両の出入口付近には交通整理員を配置し、散歩道の利用者も含めた歩行者の安全に配慮している。(写真 4-1 参照)



写真 4-1 交通整理員の配置状況（平成 30 年 4 月 24 日）

(2) 予測条件の状況

1) 施工計画（工事用車両の出入口等）

工事用車両の出入口の位置は、図 4-2 に示すとおりである。

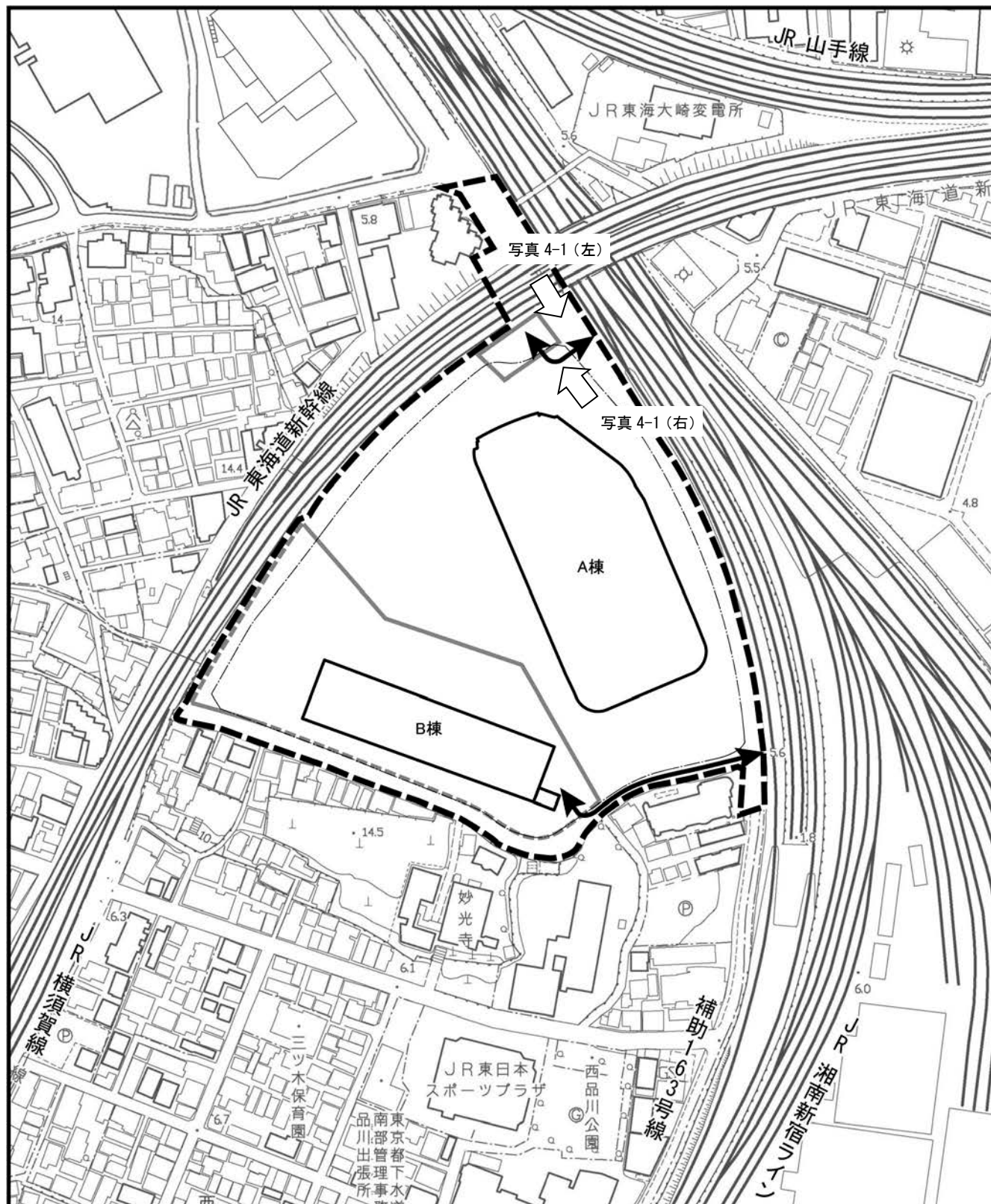
(3) 環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置の実施状況は、表 4-1 に示すとおりである。

なお、平成 29 年 5 月から平成 30 年 8 月末までの間に、自然との触れ合い活動の場に関する苦情はなかった。

表 4-1 自然との触れ合い活動の場に係る環境保全のための措置の実施状況

環境保全のための措置	実施状況
工事用車両の出入口に交通整理員を配置し、散歩道の利用者も含めた一般歩行者の通行に支障を与えない。	工事用車両の出入口付近には交通整理員を配置し、散歩道の利用者も含めた歩行者の通行や安全に配慮している。(写真 4-1)



凡 例

-  計画地
-  仮囲い(高さ3m)
-  工事用バリケード
-  供用後の敷地境界線
-  工事用車両動線



Scale 1:2,500

0 25 50 100m

図4-2
工事用車両の出入口の位置
(平成30年4月時点)

3.2 予測結果と事後調査の結果との比較検討

(1) 予測した事項

1) 自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度

予測結果のとおり、事業の実施により、周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはない。利用経路については、工事用車両との交差が生じるものの、工事用車両の出入口付近には交通整理員を配置し、散歩道の利用者も含めた歩行者の通行や安全に配慮している。

したがって、散歩道の利用者も含めた一般の歩行者の利用を阻害することはないものとする。